



地域連合

よこはま

2021年 8月2日

第 227 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

2021ピースウィーク行動 —地球上からすべての核兵器をなくそう—

例年8月6日から9日を軸としたゾーンで、JR桜木町駅頭において実施されている「ピースウィーク行動」だが、今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、街頭行動は行わず連合神奈川のホームページを活用し、核兵器廃絶に向けた活動をすすめることになった。

連合神奈川と横浜地域連合では、広島・長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われた8月6日から9日の時期を「ピースウィーク」と位置づけ、毎年「連合神奈川ピースウィーク行動」を実施している。新型コロナウイルス感染症の影響がなかった2019年までは、桜木町駅頭で街頭行動が行われていた。猛暑の時期の活動ということで非常に厳しい環境の中ではあるが、例年多くの参加者の協力を得て市民の方々へ「平和の尊さ」をアピールし続けてきた。

一昨年は高橋議長をはじめ五役、横浜市からは副市長、立憲民主党と国民民主党の各級議員の参加により行われた。主催者代表の挨拶では議長が「一日も早く戦争や核兵器のない世界をつくらう」と呼びかけ、副市長からの挨拶に続き各級議員も核兵器廃絶・世界恒久平和をマイクリレーにより訴えた。それと並行して「連合神奈川ピースウィーク」のロゴ入りうちわの配布、署名活動も行われた。

横浜市は、国際連合から「ピースメッセンジャー都市」の称号を授与され、国際社会の平和と発展のために、海外の諸都市との交流事業や協力事業を積極的に推進している。また、「横浜市国際平和の推進に関する条例」を制定し、核実験を実施したあらゆる国に対する抗議や平和首長会議と連携した取組、核兵器廃絶に向けた市民活動の支援に力を入れていいます。国際機関や市内企業の皆様と連携し、途上国の災害対策の支援や、公民連携による国際技術協力も推進しています。

今年1月、核兵器禁止条約が発効しました。これまでも横浜市は、ピースメッセンジャー都市として、また平和首長会議の一員として、平和の尊さを世界に向けて発信してまいります。

令和3年8月
横浜市長 林 文子

の世に核兵器がある限り、また同じことが繰り返される恐れがあるという事です。私たちはそのようなことをさせてはいけないう強い思いを持って訴えて



議長 高橋 卓也

ピースウィーク行動2021も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、機関誌「よこはま」を活用したメッセージ発信とさせていただきます。

今から76年前の1945年8月に広島、長崎に原爆が投下され、20数万人の尊い命が奪われました。一瞬にしてすべてが奪われ、その悲しみと苦しみが癒えることなく今も続いています。そのような恐ろしい兵器を保有している国が未だに存在しているというのは本当に残念なことです。この世に核兵器がある限り、また同じことが繰り返される恐れがあるという事です。私たちはそのようなことをさせてはいけないう強い思いを持って訴えて

きました。これからも核兵器廃絶のみならず、世界の恒久平和の実現を願って諦めずに訴えていきます。それが私たち連合の使命だと思っています。

コロナ禍が終息した暁には、街頭行動を再開して各級議員の皆さんによる訴えや高校生平和大使の皆さんによる戦争も核兵器もない平和な世界の実現を求める署名活動を行います。このメッセージが核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現について考える契機となれば幸甚です。



過去の活動の様子



今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、例年実施している街頭行動は行わず、連合神奈川のホームページを活用して啓発に努め、核兵器廃絶による世界の恒久平和を目指すことになった。

横浜市長選挙

横浜地域連合は、臨時五役・地区連合代表者合同会議（7月16日開催）において、山中竹春氏の推薦を決定しました。



8月8日告示 8月22日投票



挨拶をする秋山代行

横浜地域連合政策委員会は6月23日（水）市庁舎18階の会議室「みなと4」で横浜市業務説明会を開催した。業務説明会は例年横浜市へ提出している「政策・制度要求と提言」における要求項目のうちの数項目について横浜市から具体的な説明を受け、情報共有を図る目的で開催されている。

冒頭、本田市民経済労働部長の挨拶に続き、横浜地域連合からは政策委員長の秋山議長代行が挨拶をした。その後、以下の4項目について横浜市から説明を受け、活発な質疑が行われた。

- 1, マイナンバーカード交付体制について（市民局窓口サービス課）
- 2, 保育士確保の施策に

横浜地域連合の重要な活動のひとつ「新年度に向けた政策・制度要求と提言」では、毎年組合員からいただいた様々な提言を市へ提出し、横浜で暮らす私たちや働く仲間の生活が少しでも向上していくことを目的に行っている。業務説明会はその活動のひとつで、来年度に向けた提言の要求項目の中から特に行政側から説明を受けることで現状を把握し、今後の「政策・制度要求と提言」に活かしていく。

- 3, 駐車場施策について（都市整備局）
- 4, 温暖化実行計画（Zero Carbon Yokohama）について（温暖化対策統括本部調整課）



業務説明会后、引き続き行われた政策委員では「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」の各項目について確認と検討がすすめられた。

「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」に関連し、横浜市業務説明会を開催！

コラム「るーぶ」

皆さん、はじめまして。横浜地域連合で副議長を仰せつかっております、日産自動車労働組合 横浜支部の内田 秀和と申します。

続くコロナ禍の中、日本でもようやくワクチン接種が浸透してきた一方で、変異株の感染者が増加傾向にあるなど、未知のウイルスとの一進一退の攻防が続いています。

さて、私の勤める日産自動車横浜工場でもワクチンの接種が始まっています。事業所で働く全員の仲間を対象に、9月頃には2回の接種を終える計画です。ワクチン接種は任意なので、希望者のみに打たれます。希望者は事業所全体のおおよそ8割。逆に『打ちたくない』と意思表示をしている人が2割居るという事です。私は、あくまで一人としてワクチン接種肯定派ですが、打ちたくないという方の理由として、かかりつけ医と相談中の方や、副反応が怖いという方、注射そのものが怖いという方など、様々にあると思っています。

私の知り合いで、注射が本当に苦手、注射針を見ると血の気が引いてしまい、健診の採血の度にひっくり返ってる人が居ます。私より体の大きい大人の男性です。他にも、ジェットコースターに喜んで乗る人も居れば、絶対に乗れない人が居ます。

過激な接種肯定派からすれば、接種しない人は感染源に成り得る可能性が高いので迷惑だと考える気持ちも理解できます。しかしながら、社会のために接種した方が良いのは分かっているものの、ダメなものはダメなのです。怖いものは怖いのです。自分の理想を他人に押し付けることは出来ません。コロナが蔓延してしまう世の中は怖いですが、個人の自由が許されず少数派意見が排除され、強制的に薬を打たれてしまうような世の中はもっと怖いです。

それぞれの考えや価値観を認め合い、接種肯定派も、そうでない方もお互いを攻撃しないで欲しいと思っています。その考えは地域連合の活動の軸にも通じています。お互いを尊重し合い、皆で協力し手を携えながら『誰もが安心して暮らせる社会の実現』に向けて、一刻も早くコロナを鎮静化させ、以前の日常を取り戻したいですね。皆で一丸となり、頑張りましょう！

横浜地域連合 副議長
内田 秀和